

田原市 あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.87

令和5年1月15日号

今月の瀬美半島の花
「リシアンサス」



令和4年第4回定例会（11/30～12/14）

- 定例会で決まったこと 2 ページ
- 議案一覧・主な質疑 4
- 一般質問 6

その他

- 行政視察報告 10
- 議員とたはらトーク 12
- 議会の活動 15



祭りがつなぐ地域の絆と明るい未来

七福神に扮した大久保子ども会の皆さん（インタビュー16ページ）

部等設置条例の一部改正 を含む全18議案を可決

令和4年第4回

定例会 (11/30~12/14)

このようなことが決まりました

市長提出議案 18件

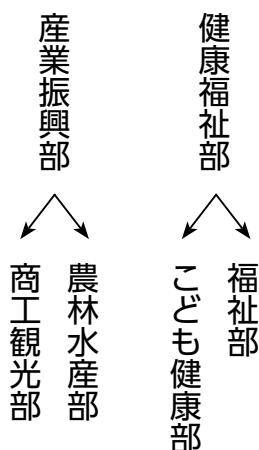
令和4年第4回定例会を11月30日から12月14日まで開催しました。
市長提出議案18件のうち、人権擁護委員候補者の推薦2件は異議なしと決定し、
固定資産評価審査委員会委員の選任など16件は、いずれも原案のとおり同意・
可決しました。

▷ 関連4~5ページ

議案第76号部等設置条例の一部改正

組織の再編を行い、各分野への対応を強化します

国の「子ども家庭庁」の設置に合わせて、子どもに関する施策に、より一層力を入れていくため、また、産業分野における施策のさらなる推進を図るため、市の組織を再編します。



新年のごあいさつ

田原市議会議長 森下 田嘉治



謹んで新春をお祝い申し上げます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、市内でも新型コロナウイルスウィルス感染症が猛威を振るい、それに加え、世界情勢が不安定となり、市民生活はもとより、農業をはじめとする各産業において本市も大きな影響を受けました。そのような中ではございましたが、昨年は3年ぶりに開催された田原市民まつりで「画でみる議会活動」と題してブースを設け、様々な世代の方々から貴重なご意見をいただきました。

田原市議会では、本年も市民の皆さまのご意見を市政に反映できるよう、課題解決に向けた活動を継続してまいります。

結びに、皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

議案第82号市税条例の一部改正

国際観光ホテルとして登録された建物について、不均一課税が適用されます

国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル等を中心とした外国人観光客などの誘致による観光振興を図るため、建物に対する固定資産税の税率1・4%を5年間0・7%とします。



議案第86号令和4年度一般会計補正予算（第7号）

物価高騰対策費、台風被害によるインフラ施設の災害復旧費などの予算を可決しました

子育て世帯や畜産農家への物価高騰対策に要する経費、台風被害による道路や河川の災害復旧費、小・中学校特別教室の空調整備費などが盛り込まれました。



令和4年第4回定例会議案一覧

議案番号															市長提出議案
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	
固定資産評価審査委員会委員の選任 (岡田惣一氏)	固定資産評価審査委員会委員の選任 (鈴木好美氏)	人権擁護委員候補者の推薦 (伊藤雅人氏)	人権擁護委員候補者の推薦 (木邨龍雄氏)	片浜埋立処分場の設置及び管理に関する条例の廃止	部等設置条例の一部改正	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	職員の給与に関する条例の一部改正	市税条例の一部改正	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	東三河広域連合規約の変更	訴えの提起	

令和4年度補正予算

一般会計（第7号）

下水道事業会計（第1号）

追加議案

議案番号
市長提出議案

令和4年度補正予算

一般会計（第8号）

※議案番号欄が白の議案は、賛否が分かれた議案です。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案
No.75

片浜埋立処分場の設置及び管理に関する条例の廃止

問 片浜埋立処分場が閉鎖され、廃棄物処理法に基づいた区域に指定されたが、土地利用に制限が出るか。

答

ごみが埋まっているため、ごみ上の覆土厚50センチメートルにかかる掘削等を行う場合は、県への届け出が必要となる。

問 ごみ上の覆土厚50センチメートルを確保して工事を行えば、届け出は不要か。

答 基本的には軽易な変更にあたり、届け出は不要と思うが、工事等の際には事前に県に相談するよう地権者に周知していく。

問 令和7年度の返還を予定していたが、変更はないか。

答 廃止手続きを終え、工事も予定通り進んでおり、現在は令和6年度中に返還する予定となっている。

(12/7 文教厚生委員会)

議案
No.76

部等設置条例の一部改正

問 部長級職員が増えることによる人件費の増加は、中期財政計画に影響を及ぼすことはないのか。

答 人件費は増加するが、中期財政計画に影響を及ぼすものではない。

問 部を再編する意義は。

答 健康福祉部は、国のこども家庭庁の設置に併せ、子どもに関する施策に力を入れていくため、産業振興部は、本市の主要産業である農業・商工業・観光にそれぞれ集中して取り組み、より一層産業振興を図っていくため、再編する。

問 部の再編により職員の専門性向上も可能になると思うが、スペシャリスト育成について市の考えは。

答 スペシャリストを育てることは、その分野における質の高い業務遂行が期待できる。一方で、市の多岐にわたる政策課題の解決策を見つけ出すためには、広い視野を有するゼネラリストの育成も必要であると考ええる。

議案
No.82

市税条例の一部改正

問 条例改正の狙いは。

答 国際観光ホテル整備法に登録されているホテル等を中心とした外国人観光客などの誘致による観光振興および地域活性化を図ること。

問 減収以外の本市への影響は。

答 登録施設以外の宿泊施設も設備を充実し登録することで、観光客の増加が見込まれ、経済効果が発生し、所得向上に伴う市民税の増加や、土地評価額の下落を抑える要因につながるものが想定される。

問 登録していない施設への周知は。

答 制度内容などを、観光部局と連携し、関係機関に周知していく。
(12/7 総務産業委員会)

令和4年度一般会計補正予算(第7号)

小学校管理運営事業

特別教室の空調設備は、どのようなタイプを検討しているか。

基本的には普通教室と同様のタイプを計画しているが、天井や間取りなどの条件によつては壁掛けや据え置きタイプを検討しながら設計を進めていく。

移動ができ、非常に便利なスポットクーラーは設計費もかからないと思うが、検討はされるのか。

教室の広さなどにより複数台設置の必要が出てくる。また、排熱処理のための排気ダクトの設置、スペースの確保、コンプレッサーによる騒音発生の懸念から、教室の空調としては向いていない。

特別支援教室の空調工事は、なぜこの時期になったのか。

令和5年4月から特別支援学級に通う生徒が増えることと、普通学級に通っている児童が特別支援学級に移ることになったため。

児童生徒数が変わると把握したのはいつか。

事前に情報は得ていたが、最終的な確認は9月以降であった。

給食センター給食物資購入事業

物価高騰対策の予算だが、食材の購入ルートやメニューの見直しなどと並行して、この予算が出てきたのか。

今回の物資購入価格の見直しは、現状の物価に応じた見直しで、コロナ禍の物流や販売ルートも不安定な中、販売店や流通ルートの見直しまでは行っていない。ただし、献立や使用する材料の見直し、田原市産の使用頻度を増やす努力はしている。

(12/8 予算決算委員会)

■新型コロナウイルス対策検討特別委員会

令和2年5月7日からこれまで、新型コロナウイルス感染症対策について、調査研究を進めてきました。

本会議最終日の12月14日、調査結果をまとめ、議長に報告書を出し、同日、本会議において特別委員会は廃止されました。

討 論

議案に対する
本会議での議員
の賛成・反対の
表明です

議案 No.78

議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

反対(廣中清介)

本案は、コロナ禍で各種支援策が継続されている中で、期末手当を引き上げようとする愚挙。市のため、市民のために身を削る「議員報酬減額」という当初からの主張と全く相容れないため、断固反対する。

賛成(内藤喜久枝)

国の「特別職の職員の給与に関する法律」の改正に準じた議員の期末手当の支給割合引き上げであり、近隣市町村でも改正を行う予定と聞いている。国や他の地方公共団体との均衡も図られていることから賛成する。

反対(岡本重明)

就任当初より議員報酬一時削減等を一貫して主張してきた。一般質問や質疑をする議員が少ない中、十分な報酬をいただき感謝の気持ち。経済的疲弊が続く今、市民と痛みを享受するという視点からも賛成できない。

賛否が分かれた議案

■議案第78号 「議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正」(一部省略)

結 果 (賛成:反対)	岡本 重明	赤尾 昌昭	鈴木 和基	廣中 清介	古川 美栄	長神 隆士	内藤喜久枝	辻 史子	小川 貴夫	岡本 禎稔	平松 昭徳	太田田紀夫	内藤 浩	村上 誠	仲谷 政弘	中神 靖典	大竹 正章	森下田嘉治
可決 (15:2)	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない

■陳情を審査しました

▽燃料、飼料穀物、肥料、資材高騰から農業経営を守る緊急支援を求める陳情書

総務産業委員会

で陳情を審査した結果、不採択となりました。

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

市債残高の増加や基金の減少による財政運営への影響は

借り入れは国の財政措置のある地方債を、基金は予算の年度間調整に必要な額を確保して対応



中神 靖典

自由民主党田原市議団



今後の行財政運営について

問 今後の財政見通しは。

答 令和5年度から令和7年度までの、向こう3カ年の一般会計の予算規模は、令和5年度は実施計画に連動した大規模事業などの影響により、本年度当初予算の284億円から、一時的に313億円程度に上昇するが、令和6年度以降は290億円台で推移するものと見込んでいる。

問 令和5年度の予算編成における基本的な考え方は。

答 長期的な展望を見据えながら、喫緊の課題解決に向けても、事業展開を図っていく。DXやGX(※)など新たな行政課題への取り組みを進め、この地域の持続性を高めていく。地域の安心・安全を確保するため、道路や河川などインフラ老朽化対策などの国土強靱化の取り組みを実施する。個性と活力ある「元気な渥美半島」の実現を目指すため、行政サービスの再構築が必要。予算規模の縮小、人口減少が進む中であっても、必要な市民サービスを維持するため、最小費用、最大効果の実現を図るための予算を計上していく。

問 投資的経費の考え方は。

答 地域の活性化や災害対応などに必要不可欠なものと認識しており、国・県の補助制度を活用しながら積極的に推進していく。財源として、市債の借り入れ、各種基金の有効活用により必要な規模を確保していきたい。

問 投資的経費の財源確保をするための市債残高の増加や基金の減少が、財政運営に影響を及ぼすことはないか。

答 地方債の借り入れは、国の財政措置のある地方債を厳選しており、実質的な財政負担の抑制につながっている。また基金は、予算の年度間調整に必要な額を確保した上で、各種基金を活用しながら必要な投資的経費の財源を確保するとともに、その他の事業にも影響が出ないように対応していく。

※GX（グリーントランスフォーメーション）
化石燃料中心の産業構造をクリーンエネルギー中心に移行し、経済社会システム全体の変革を目指すこと



辻 史子

公明党田原市議員



AYA世代(15～39歳)がん患者の在宅ターミナルケア支援を実施する場合の課題は

在宅療養に関する実態の把握が困難で、サービスの種類等について検討が必要

多様な選択肢のある中学校の制服について

問 全国で多様性を尊重して選択肢のある制服を導入する学校が広がってきている。経済性や多様性を考慮した制服についての考えは。

答 各学校では性別を問わないタイプが選択できるようになっている。市としては、児童生徒、保護者等の意見を踏まえ、経済性や多様性に配慮しつつ、時代の変化に適応した見直しを検討することが大切であると考えている。

0～2歳児の未就園児の子育て支援について

問 令和5年4月、こども家庭庁が設置される。妊娠時から出産・子育てまで、「孤育て」を防ぐための切れ目ない相談支援体制についての考えは。

答 今議会に、児童福祉と母子保健等の一体的な推進に向けたこども健康部の設置に関わる条例案を提出したことをはじめ、年齢や制度の壁を乗り越え

た切れ目のない、包括的な支援体制に取り組んでいく。

HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）の接種について

問 令和5年4月、従来のワクチンよりも高い感染予防効果があるとされる9価HPVワクチンも定期化されるが、接種率向上のための方針は。

答 既に通知を送っている方にも改めて個別通知を行うなど丁寧な情報提供をしていく。

AYA世代がん患者の在宅ターミナルケア支援について

問 AYA世代がん患者の在宅ターミナルケア支援を実施する場合の課題は。

答 がん患者の在宅療養に関する実態の把握が困難である。支援に必要なサービスの種類や助成額、助成対象期間等の検討が必要で、引き続き先進自治体の制度などを調査・研究していく。



一般質問

- | | | |
|------|-------|---|
| P 6 | 中神 靖典 | 今後の行財政運営について |
| P 7 | 辻 史子 | 多様な選択肢のある中学校の制服について
0～2歳児の未就園児の子育て支援について
HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）の接種について
AYA世代がん患者の在宅ターミナルケア支援について |
| P 8 | 長神 隆士 | 地域福祉の充実について |
| P 8 | 小川 貴夫 | 農家の労働人材確保について |
| P 9 | 古川 美栄 | 農業生産1000億円と全国一奪還へ |
| P 10 | 岡本 重明 | 改定版第1次田原市総合計画実施成果について |
| P 11 | 仲谷 政弘 | これまでの市政運営の総括と次期市長選に向けての進退について |

コロナ禍の影響を受け、様々な課題を抱えた人からの相談支援窓口の取り組みは

分野の異なる課題解決もできる体制の充実を図っているが、改めて検討する必要がある



長神 隆士

自由民主党田原市議団



地域福祉の充実について

問 コロナ禍で見えた地域住民が自主的に運営するサロン（居場所）の取り組みは。

答 緊急事態宣言発令時には多くのサロンが活動中止を余儀なくされたが、サロン活動を支援している社会福祉協議会と地域の主催者や指導者が、活動再開に向け、意見交換や技術習得等に努めたことで、活動をやめたサロンはなく、現在では順調に活動を再開している。

問 コロナ禍の影響を受け、様々な福祉課題を抱えた人からの相談支援窓口の取り組みは。

答 コロナ禍により、相談件数が増える中、高齢者、障害者、子ども・若者、生活困窮者など分野ごとの専門窓口で、分野の異なる相談についても課題が解決できる体制の充実を図ることとしているが、今後の課題対応のため、改めて検討する必要があると認識している。

問 個別避難計画には、災害時に避難の手伝いをする地域の支援者を記載することになっている。コロナ禍ではその選定も厳しくなっているのではない

かと感じているが、その取り組みは。

答 防災局と協力して取り組んでいるが、今回のコロナ禍は地域の支援者の確保をさらに難しくした。今後は支援者の確保に向け、福祉事業者や地域の方などに協力をいただく必要性が増したと認識している。

問 相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の三つの支援を一体的に実現する、包括的な支援体制の整備に向けた取り組みは。

答 コロナ禍を通じて支援が必要となった方も含め、様々な福祉課題を抱えた方が社会とのつながりを再構築し、日常生活や社会生活、さらには経済的な自立が図られるよう、重層的支援の体制整備の推進を図り、包括的な支援体制の整備に向けて取り組んでいく。



農家の労働力確保について

問 円安など様々な要因で外国人を雇用する農家も大変な状況と伺っている。外国人の雇用問題について、どのように捉えているか。

答 円安による影響で日本が実習先に選ばれないことにより農業経営に支障が生じることが懸念される。実習生が少なくなっても、各農家において生産規模の縮小などが生じないようにしていくことが必要と考えている。

問 外国人技能実習生の監理団体はJ Aを含め5団体ある。J A以外の声も把握することが大切だと思うが、今後も情報収集を行っていききたい。

農家の労働力確保についての考えは

重要な課題と認識し、関係機関と連携を図り取り組んでいく



小川 貴夫

自由クラブ





古川 美栄

自由民主党田原市議団



今後の農業経営体の在り方について、市の考えは

農業経営体の特徴をそれぞれ生かし、日本一の農業産地を形成していきたい

農業生産1000億円と全国一奪還へ

問 経営面、設備面、基盤面など農家の経営基盤の強化が必要と考えるが、市の考えは。

答 農家の経営基盤の強化には、経営知識や栽培技術を有する農業経営体の育成、農業生産に関わる人材の確保、農業施設や機械の整備、農地の大区画化や集積・集約が特に重要と考える。経営基盤強化には国、県、市、団体が所管する様々なメニューがあるため、引き続き、市は関係団体と連携しながら農家の窓口となり、推進していきたい。

問 本市のスマート農業の推進における考えは。

答 ロボット技術や情報通信技術を駆使したスマート農業は、農作業の省力化や効率化、栽培技術の伝承などの課題解決が期待されている。そのため、市は大学や企業との連携も含め、スマート農業を積極的に推進していきたいと考えている。スマート農業は、農家の課題やニーズに合った技術を導入することが必要であり、導入に当たっては高価な機器も多いため、国や県の補助事業を活用できるように引き続き農家を支援していく。

問 今後の農業経営体の在り方について、市の考えは。

答 農家の法人化、企業化は、経営の合理化、人材の確保と育成など経営上のメリットと制度資金の優遇措置など制度上のメリットがある。一方、家族経営は、経営の自由度の高さや社会情勢に柔軟に対応できるなどのメリットがある。市としては、これらの農業経営体がそれぞれの特徴を生かした経営を展開することで、次世代を担う元気な農業者の育成、農業経営の強化を図り、日本一の農業産地を形成していきたいと考えている。



問 農業経営が安定し戦略的に仕事ができる農家の労働力確保について、どのように考えているか。

答 ハローワークやシルバー人材センターなどとの連携、農家とアルバイト人材をマッチングするアプリの紹介や普及啓発、農業施設の新設・更新などを行うための国や県の補助事業採択支援、スマート農業導入促進により省力化を図る支援を行っている。労働力確保は重要な課題と認識しており、今後も関係機関と連携を図りしっかりと取り組んでいく。

問 農家の人材確保は今後どのように進めていくのか。

答 求人関連事業者や関係機関などと連携を図り、確保が必要な農家へ情報提供を行うなど周知を図っていく。

問 シルバー人材センターや民間マッチングシステムの事業者などと定期的に意見交換をすべきでは。

答 不定期でも情報交換、情報収集はできるため、必要に応じて情報収集を図っていききたい。

問 他の市町では公務員が農業で副業を行う仕組みが確立しているところがある。繁忙期やマッチングできない時など、例えば市役所職員が副業的に従事してもらう仕組み作りがあってもいいのでは。

答 サクラランボやリングなど品目が限定的で、収穫時期など短期間に多くの人手が必要な市町の仕組みと認識している。本市は、施設花卉、施設野菜、露地野菜など品目が幅広く、また一年を通して人手が必要なため、なじまない仕組みと考えている。

人口減少率の地域間差異を受け止めた具体的な施策があるのか

人口減少対策を含む総合的なまちづくりを格差なく公平に進めている



岡本 重明
みんなの党愛知



改定版第1次田原市総合計画実施成果について

問 市内における人口減少率の地域間差異を受け止め、政策の見直しが必要であると考えますが、具体的な施策があるのか。

答 基本計画の各分野において具体的な施策を定め、人口減少対策を含む総合的なまちづくりを格差なく公平に進めている。

問 子育て世帯や3世代同居世代に対して減税に値する支援策や、農業生産地で食材が豊富なために給食費無料化の検討などを講じて、移住者を増やす新たな施策を考慮しているのか。

答 総合計画の基本計画で定めた各分野における取り組みのほか、まち・ひと・しごと創生総合戦略に4つの基本方針「雇用の創出・就労促進」「定住・移住促進」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現」「地域の魅力・住みよさの向上」を定め、必要に応じアクションプランを見直ししながら、官民連携により継続して施策に取り組んでいる。

問 農業活性化ゾーンの活性化が実現できれば人口減少を防ぐことにつながり、景観・環境・農地の保全につながると思うが、このゾーンの活性化に人口減少は関係ないと考えているのか。

答 人口減少による担い手の高齢化や後継者不足を現状課題として、しっかりと認識し、対策を行っている。

問 安定的な農業を継続するためとして、農家の法人化も言われている。農業法人の株式をM&A（企業の合併・買収）などで外国企業に買われた場合、農地が外国企業のものになり、買収後の農地等への不安などが想定できるが、市はどう捉えているのか。

答 外国企業に限らず、企業による農業法人の買収や資本出資について、現在国で要件緩和に向けた議論が行われている。要件が緩和されることにより、農地が適正に利用されるかについて、今後の動向を注視していく必要があるものと捉えている。

行政視察報告 議会運営委員会

(10月27日～28日)



【視察テーマ・視察先】

- ・「予算決算常任委員会の運営方法（委員会の総括質疑）について」（神奈川県横須賀市）
- ・「決算審査での事業評価の導入と翌年度予算編成への反映について」「常任委員会ごとにテーマを設定し、調査研究、委員会討議等を経て、政策提言等を行っていく取り組み」（神奈川県茅ヶ崎市）



【参考になった点・所感】

- ・議会として何をしていくべきかを考え、予算決算常任委員会の運営方法だけでなく、議会改革全般に目標をもって取り組んでいる議会だと感じた。（横須賀市）
- ・議会が事業評価結果を市長に伝え、その評価結果の次年度予算への反映状況について市長が議会へ報告する仕組みは合理的で興味深い。（茅ヶ崎市）



仲谷 政弘

自由民主党田原市議団



次期市長選に向け、進退の考えは

将来の元気な渥美半島を目指し、引き続き市政運営に全身全霊で力を尽くしたい

これまでの市政運営の総括と次期市長選に向けての進退について

問 市長2期目の市政運営を総括し、その評価をどう捉えているか。

答 豚熱の発生や新型コロナウイルス感染症まん延のような想定外の事態にも対応しつつ、最重要課題としてきた道路整備について、渥美半島の先端まで信号の無い道路の必要性をあらゆる場面で訴えてきた。その結果、渥美半島道路として国・県の広域道路ネットワーク計画の構想路線に位置付けられ、大きな一歩を踏み出すことができたと考えている。

就任当初の所信表明では4つの柱を掲げ、1「地域の特色を生かした産業の振興」では、伊良湖温泉のデビューや伊良湖クリスタルポルトの取得など。2「出産・子育て・教育環境の充実」では、児童発達支援センターあおぞら園の新設や保育園の民営化など。3「福祉・医療の充実」では、赤羽根診療所の運営支援など医療基盤の維持や、18歳までの入院費の無料化など医療負担軽減。4「安心・安全で快適なまちづくり」では、小中山地区津波避難施設の整備など。また、公共施設適正化では、泉中学校と赤羽根中学校の統合、田原斎場

と渥美斎場の統合などを実施してきた。

1期目の成果に加え、継続する取り組みと合わせ、持続可能な地域づくりをさらに推し進め、市民の負託に応えることができたと考えている。

問 次期市長選に向け、進退の考えは。

答 本市のさらなる発展のため、臨海工業地域の発展や伊良湖地域の観光振興、赤羽根地域のサーフタウン構想、農業分野のカーボンニュートラルに向けた取り組みなど、道半ばの課題に取り組むこと、渥美半島道路については、「早期実現渥美半島道路」のキャッチフレーズのもと、機運をさらに前に進め、早期実現につなげることが私の責務であると考え、将来の元気な渥美半島を目指し、引き続き市政運営に全身全霊で力を尽くしたいと考えている。



お知らせ information

令和5年第1回定例会（3月定例会）会期

3月1日（水）～3月23日（木）

日	月	火	水	木	金	土
2/26	27	28	13:30～ 3/1 本会議 (施政方針・議案審議)	2	10:00～ 3 本会議 (代表質問・一般質問)	4
5	10:00～ 6 本会議 (一般質問)	7	8	10:00～/13:30～ 9 文教厚生委員会 総務産業委員会	10	11
12	9:00～ 13	9:00～ 14	13:30～ 15	9:00～ 16	17	18
19	13:30～ 20 議会運営委員会	21 春分の日	22	10:00～ 23 本会議 (採決等)	24	25
26	27	28	29	30	31	4/1

マークの日に、施政方針および一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。※日程および時間は、変更になる場合があります。
本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。（感染症対策をお願いします）

田原中部市民館・高松市民館・西山公民館において、感染症対策を実施し、人数を絞って開催しました。
ご意見は抜粋して掲載しています。



11月7日 田原中部市民館

- ・防災訓練など市が行う行事の会場確保は、市がしっかり調整しておいてほしい。
- ・高齢者が安心して暮らせる仕組みをもっと周知してほしい。

11月9日 高松市民館

- ・大雨による畑からの土砂の流出を防ぐよう、耕作者のモラル指導をしてほしい。
- ・国道にも雑草が常に多く、景観が良くない。これでは花のまちではなく、雑草のまちだ。



11月10日 西山公民館（亀山校区）

- ・太陽光施設の管理が悪い。市で設置を止める手立てを考える必要がある。
- ・民地ではあるが、大雨による山崩れの対策があれば教えてほしい。



この他にいただいたご意見は全て議員全員で共有し、回答を要するものは後日、地域・団体に回答しています。
市民の皆さんのご意見は、政策提案の検討材料にもなりますので、今後も意見交換できる機会を大切にしていきたいです。皆さん、ぜひご参加ください。



10月21日 CAEA渥美半島環境活動協議会



11月8日 愛知県農村生活アドバイザー協会

田原市民まつり

10月23日に開催された田原市民まつりにて「画でみる議会活動」と題し、議会活動の写真展示、議会紹介の動画上映、市民との意見交換を行いました。



◆主な意見

- ・ 停留所以外でも手を挙げることでどこでも乗車できれば、ぐるりんバスの利便性が向上するのでは。
- ・ 運転免許証返納後の交通手段が心配。
- ・ 公共事業を計画的に行い、経済を回すことが重要。
- ・ 貧困問題、特に食事の支援や、生理の貧困など、実態を把握して対応を願う。

「声の広報」として21年 朗読録音奉仕奨励賞を受賞

長年にわたり、「声の広報」ボランティアとして活躍されている牧野和代さん（田原町）に、鉄道弘済会、日本盲人福祉委員会から「朗読録音奉仕奨励賞」が贈られました。11月11日（金）に市役所で贈呈式が行われ、廣中清介広報広聴委員長が同席し、牧野さんにお祝いと日頃のお礼を伝えました。

声の広報とは「議会だより」や「広報たはら」をボランティアの方が朗読してCDに録音したもので、視覚に障害がある方や図書館などに配布しています。



「声の広報」をやってみませんか

「声の広報」ボランティアは昭和60年から活動を始め、現在は10名で活動しています。仲間を募集中ですので、興味のある方はぜひご連絡ください。

問い合わせ先 広報秘書課 ☎22-0138

有料広告募集

田原市議会では、地域経済の活性化を目的として「田原市議会だより」に掲載する有料広告を募集します。

- 掲載位置 最終ページ下段（16ページをご覧ください）
- 募集枠数 2枠（枠サイズ：縦55mm×横85mm）
- 掲載号 令和5年4月15日号～令和6年1月15日号（全4回）
- 掲載料 年41,880円（10,470円/回）
- 参考情報 A4版カラー刷り 年4回発行（約2万部/回）
市内の全世帯等に配布、市役所・公共施設で配布



- 募集期間 令和5年2月28日（火）まで（直接持参の場合は執務時間内・郵送の場合は締切日必着）
- 応募方法 QRコードなどから議会ホームページにアクセスし、申込書に必要書類を添えて提出してください。
「田原市広告取扱要綱」「田原市広告掲載基準」「田原市議会だより広告掲載要領」「田原市議会だより広告募集要項」をよく読み、規程を順守してください。
- 選考方法 広報広聴委員会で審査し、応募者多数の場合は議会だより広告掲載要領第8条の規定に基づき決定します。



■問い合わせ先 田原市議会事務局 ☎0531-23-3533 ✉gikai@city.tahara.aichi.jp

10月15日
田原市消防団ポンプ操法大会



消防団員が日頃の訓練の成果を披露。議長が議会を代表して激励しました。

10月17日
東三河市町村議会議長協議会
要望活動



今年は協議会長として、東三河地域の将来に向けた道路整備などの陳情書を県知事に提出しました。

10月31日
田原市・設楽町議会議員交流会



設楽ダム工事現場や「道の駅したら」を視察するなど、3年ぶりに設楽町議会と交流を深めました。

11月6日
田原市防火協会50周年記念式典



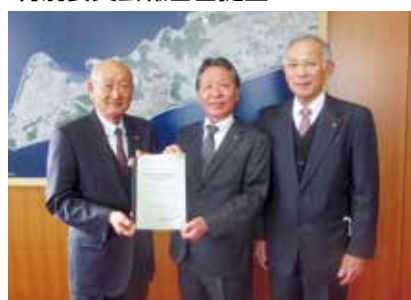
50年にわたり、防火啓発活動を通じて市民の防火意識の向上に尽力されていることに對し、心から感謝を伝えました。

11月8日
豊橋・湖西・田原市議会議長
協議会要望活動



浜松湖西豊橋道路の早期実現などを国に要望しました。

12月14日
新型コロナウイルス対策検討
特別委員会報告書提出



令和2年5月からの活動内容をまとめた報告書を議長に提出しました。

編集後記

「議会だより」をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。本紙は、市議会の様子、取り組み、各議員の一般質問等について、できるだけ分かりやすく市民の皆さまにお伝えすることを念頭に置き、広報広聴委員会にて編集会議を重ね、皆さまにお届けしております。

小さな紙面に載せられる内容には限りがありますので、紙面の中にQRコードを付けて内容の補完に努めておりますが、ケーブルテレビやインターネットによる一般質問の放映、議会ホームページでの会議録の閲覧など、さらに詳しい議会情報を得るための手掛かりとしても、本紙をご活用いただければ幸いです。

現メンバーが編集に携わった議会だよりは、今号が最後となります。委員一同、ご愛読いただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。

広報広聴委員会

委員長 廣中 清介
副委員長 内藤 浩
委員 長神 隆士
仲谷 政弘
中神 靖典
内藤喜久枝
鈴木 和基
岡本 重明





インタビュー

Vol.36

大久保お祭り童興会と
大久保子ども会の皆さん

— 会のつながりは何ですか。

毎年10月、お祭り童興会と子ども会が一緒に大久保神社大祭に参加しています。

— いつ頃から活動していますか。

お祭り童興会は有志で立ち上げ、29年になります。立ち上げた当初、商工会ふれあいまつりの仮装大会に七福神の装いで参加し、仮装大賞受賞をきっかけに大久保神社大祭でも七福神で参加、後に子ども会へと引き継がれました。

子ども会はそれ以前から大祭時にみこしを担いでいます。

— 大祭に参加しているのは。

40〜50代のお祭り童興会のメンバーと、子ども会のうちの4年生〜6年生です。



— どのような活動をしていますか。

お祭り童興会は、校区の市民館まつり兼大祭前夜祭で屋台を出し、大祭当日には子ども会と一緒に各々のみこしを担ぎます。子ども会は、大祭当日、お祭り童興会のおはやしに乗せて、七福神踊りを披露します。お祭り童興会と子ども会の活動は、地域の絆とふれあいにつながっています。

— 今後の展望は。

これからも、地域の絆とふれあいの場所である祭りにどこに継続して参加し、活動に取り組んでいきたいです。

(聞き手…長神隆士) 令和4年11月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp



社会福祉法人 福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里



田原福祉グローバル専門学校

募集

パートさん
しその葉の摘み取り作業

内職さん
しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL 0531-37-0447